

## 第 33 回高槻出張所管内河川レンジャー運営会議 議事要旨

第 33 回会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、書面開催とした。

運営会議委員の 2/3 以上である委員 11 名から回答を得た。主な意見は以下のとおりである。

### 1. 議題

- (1) 令和 3 年度上半期の河川レンジャーの成果と課題について
- (2) 淀川発見講座およびレンジャー養成講座の開催について
- (3) 淀川水系一斉美化アクションの報告と今後の予定について
- (4) 今後のスケジュール

### 2. 主な意見等

#### (1) 令和 2 年度上半期の河川レンジャーの成果と課題について

##### 1) 杉本レンジャー

- 上半期はコロナによる宣言が相次ぎ、活動が実施できず残念に思う。下半期において、活動目標の具体実施を望む。
- 令和 2 年度第 32 回運営会議の際に、川の魅力を学ぶ活動において、参加者に、魅力とあわせて森林の現状や大雨時に土砂が流出する危険について、写真等を使って伝えてほしいと意見を伝えた。意見の具体化に努めてほしい。

##### 2) 原レンジャーアドバイザー

- 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動、活動目的である課題と地域住民と行政との連携については、四季を通した行事の開催検討をスタートしたと報告書に記載があり、一部の目標の達成が可能であり発展ができ、実現が望まれる。こどもまつりへの参画についても、防災展示のみから子ども向けマイ・タイムラインの作成体験を実施し、参加内容に発展が見られ、活動目的が達成されつつあると感じた。

#### (3) その他

- 緊急事態宣言発出中でも感染予防対策を講じてレンジャー活動をすることはできないものか。学校関係の仕事をしている点(文部科学省の通知や市町村のガイドラインでは、緊急事態宣言発出中でも臨時休校せず感染対策を行いながら一部制限もあるが学校行事を行っている)からも、柔軟に対応できないか検討いただきたい。

以上